

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金	開始 年 度	平成23年度
団 体 名	特定非営利活動法人ウィメンズネット函館	団体等 の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
※対象が個人の場合は <input checked="" type="checkbox"/> 不要			
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害者の身の安全を守る民間シェルター（アパート等を賃借）の家賃などへの助成</li> <li>・シェルター退所後の被害者の自立支援の場となる「ステップハウス」の家賃などへの助成</li> <li>・DV被害者を対象とした就労支援講座やカウンセリング等に対する経費等への助成</li> </ul>
目 的	(目 的) シェルターへの入所からステップハウスへの入所、被害者の自立支援までの総合的な支援を目指す。
・ 効果	(効 果) 「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する法律」（以下「DV防止法」）で定められている「DV被害者の適切な保護」および「DV被害者の自立支援」を図ることが可能となる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	寄付金	計
		市	その他					
収 入	H29	1,979 [1,979]					495	2,474 [1,979]
	H30	2,000 [2,000]					516	2,516 [2,000]
	R元	2,000 [2,000]					590	2,590 [2,000]
	R2	2,000 [2,000]					780	2,780 [2,000]
	R3	2,000 [2,000]					698	2,698 [2,000]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	H29			2,474 [1,979]				2,474 [1,979]
	H30			2,516 [2,000]				2,516 [2,000]
	R元			2,590 [2,000]				2,590 [2,000]
	R2			2,780 [2,000]				2,780 [2,000]
	R3			2,698 [2,000]				2,698 [2,000]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金
----------------	--------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「DV防止法」に則った事業である。①シェルター入所件数は年間50件程あり、市民生活の向上に貢献する事業である。②市内の相談機関におけるDV相談件数は年間4千件を超えており、市民ニーズの高い事業である。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安定したシェルター運営が可能となり、「DV防止法」で定められている「市の責務」を果たすことができる。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	会員の募集や寄付金の依頼に力を入れている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市が直営もしくは委託等で行うより、シェルターを運営する民間団体が行うことにより、DV被害者に対して柔軟に対応でき、経費の削減が図られる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	民間シェルターの運営には多くの人手と資金が必要であり財源の確保が不可欠であるが、団体の財政基盤が脆弱で自主財源を確保することが困難な状況であり、推移を見守る必要があるため。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

# 補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金
----------------	--------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

・シェルター入所件数, ステップハウス利用件数, 就労支援講座等開催回数等

---

(達成状況)

令和3年度実績

- ・シェルター入所件数 31件
- ・ステップハウス利用件数 22件
- ・就労支援講座実施回数 6講座 13回
- ・インターンシップ 2カ所 計10日間
- ・カウンセリング実施回数 6回
- ・シェルター転居実績 あり(1カ所)

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容※現行のまま継続の場合はその理由を記載)  ・補助割合 自主財源の確保に努めているものの, 現段階において, 安定した財源を得られていないため, 補助割合を現行のままとする。  (見直しの時期)
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定 ※3年間を目途とした終期を設定し, 終期到来年度には必ず見直しを検討すること

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 6 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	